

プロテオーム解析基盤の構築：創薬研究開発の県内振興を目指して

【目的】

プロテオーム解析技術を薬総研内に構築し、技術支援を行うことにより、富山県内製薬企業や大学における創薬研究開発並びに研究者／技術者の人材育成に活用すること。



【取り組んでいること】

- ① 県内企業や大学の技術支援
- ② 適応サンプル及び解析手法の拡大に向けた検討
 - ・ 動物組織等からのタンパク質抽出方法の検討
 - ・ リン酸化プロテオーム解析法の検討
 - ・ 難溶性サンプルに適用可能なサンプル調製法の検討
 - ・ バイオ医薬品に含まれる不純物（宿主細胞由来タンパク質；HCP）の解析
 - ・ DIA解析による高深度プロテオーム解析の検討
- ③ プロテオーム解析技術の富山県内への周知
 - ・ プロテオーム解析に関するセミナー・装置見学会の開催
 - ・ 富山県薬事研究会 生物部会での研究活動（R6-7年度）
プロテオーム解析手法による網羅的相対定量の実践：
培養細胞を対象として（R6年度生物部会テーマ）
- ④ プロテオーム解析技術を活用した所外組織との共同研究

- ・ Orbitrap Fusion Lumos (thermo fisher scientific)
- ・ UltiMate3000 RSLCnano (thermo fisher scientific)
- ・ オートサンプラーPAL LSI (エーエムアール株式会社)

プロテオーム解析に特化した仕様の
質量分析装置

R5年度から機器利用スタート

最先端の装置を使ったプロテオーム解析の有用性を広く周知し、外部組織と連携して相互に解析技術を向上させることにより、県内における創薬研究開発等に活用することを目指していく。